



長谷川 博 議員

- 1、国保税の引き下げと被災者医療・介護一部負担金免除の継続について
- 2、住民要望・課題の検討について

Q 市民要望への検討を求めて来た。
 ①従前5月に支給していた就学援助費の入学準備金を前倒しして年度内の3月に支給すべき。国の通達で支給額は倍増している。②障がい者の福祉タクシー券だが、交付対象者の中にはガソリン券の助成が望ましいとする方もいる。決算によれば

A タクシー券の利用率は約50%前後で、見直しが必要だ。③災害公営住宅の玄関ドアの防風対策を。強風時ドアが開かない、子供が腕をはさまれるなどの問題を訴えている。
教育長 ①県から10月に前倒し分の補助通知あり。中学入学時に負担が大きくなること、前倒し支給の審査で

A 世帯状況が把握できていることなどを考慮し、現小学6年生を対象に実施する。小学校入学時の前倒し支給は次年度から実施する。
市長 ②タクシー券とガソリン券の選択制で新年度から実施。③団地全体の対策は困難。個別にドアクローザーの対応を周知する。



▲前倒し支給により、文字通り入学準備に活用できます

Q 住民要望・課題の検討状況は

A 入学準備金・中学入学前に支給



▲今後の活用法が検討されている矢本パーキング



大橋 博之 議員

- 1、矢本パーキングの活用法を問う
- 2、東松島ブランドを全国発信せよ
- 3、お結び課の設置を検討せよ

Q 矢本パーキングの活用を問う

A 活用を目指し努力する

Q 矢本パーキングの活用については旧矢本町時代より現在まで多くの議論を重ねてきた。しかし、有効な活用方法が見いだせずに現在に至っている。サービスエリアへの昇格を目指しての可能性調査を実施しその結果も報告されている。今後の活用法について伺う。①サービスエ

A リアの建設についての財源の確保と国交省の許認可の見直し②盛土材確保事業の今後の活用③パーキングと一般道との接続の可能性について。
市長 矢本パーキングエリアのサービスエリアへの昇格整備については非常に難しい状況と考えている。①活用できる補助事業も厳し

い状況であり許認可等もハードルが高い②一時的な避難場所という防災を軸に将来的には地域振興施設を想定したもので集客機能として飲食や物販が可能な施設を考えている③矢本パーキングとの連結路線である市道百合子線の整備を継続実行し三陸道と連結できるように国交省へ要望中。